

## 令和4年度第1回みきっ子未来応援協議会 議事録（案）

【日時・場所】 令和4年11月22日（火） 18:55～20:45  
三木市役所 5階 大会議室

### 【出席者】

<委員 8名> 【部会長】 田中啓規  
※敬称略 【副部会長】 池田博文  
【委員】 北井保美、稲岡ひとみ、神吉知子、  
大田亜由美、土出麻美、大森奈津子  
  
【健康福祉部】 井上典子（部長兼福祉事務所長）  
[子育て支援課] 中西 進（課長）  
藤田恵子（係長）  
富岡憲登（主事）

### 1 開会

2 あいさつ 健康福祉部 井上部長

### 3 委員、事務局自己紹介

### 4 議事

(1) 「三木市の子育て施策の情報発信」について

#### 説明

事務局（子育て支援課）

市民の方から子育て支援施策について、近隣市町の方が優れているというご意見をよくいただきます。しかし、三木市は目玉はないが品ぞろえは多く、全体として子育て環境が整っています。そうした中で劣っているととらえられるのは、アピール方法が良くないのではと考えました。そこで、情報の見せ方として、キャッチフレーズがある方が良い、あるいは他に有効な手法があるのかなど、ご意見をいただきたいと思っております。

#### 進行

司会（部会長）

説明頂きました議事「情報発信の方法」について、委員の皆さんのご意見を伺いたと思います。

## 委員からの意見

- ・事務局からの説明で、受け手と出し手のニーズの違いを感じます。
- ・母子モは、注射の管理もでき便利と聞いたが利用はしていません。ホームページからも情報を仕入れたことはなく、どこを見ればいいのかという感じです。
- ・ホームページは情報がどこにあるのかわかりにくいです。たとえば明石市長がツイッターで明石市の施策を発信するとタイムラインに流れてきて勝手に目にとまる。三木市は調べないとわからないところに違いがあると思います。
- ・ホームページは自分から探しに行かなければならないので、インスタやフェイスブックの情報が欲しいです。携帯を見ているうちに情報が入ってきます。
- ・三木市だけではなく、概してどこも見にくいです。災害時の情報も少ないです。
- ・子育て中の保護者から、母子モという言葉あまり聞いたことがないです。
- ・三木市のツイッターのアカウントのアイコンを差別化することで目にとまりやすくなると思います。
- ・ツイートに画像を付けたり、ハッシュタグ（#三木市子育て情報）を付けたりしてはどうでしょうか。

## 意見

「子育て応援ハンドブック」の表紙にツイッターのアカウント名とハッシュタグを掲載してはどうですか。

## 回答

事務局（子育て支援課）

来年度版の「子育て応援ハンドブック」作成に着手しており、ぜひ取り入れたいです。

## 進行

司会（部会長）

広報誌とホームページ、SNS を繋ぐことで、すごく意味や価値が出てくると思います。

## 説明

事務局（子育て支援課）

できるだけは別として、例えば有名なテレビのコマーシャルのように1回2回聞いたら耳に残るような、三木市の子育てのコマーシャルを作るとしたらどういうフレーズがいいのかなど、楽しみながら委員の皆さんも思っていることをどんどん発言してください

## 質問

「キミもミキになる」の動画はどうなっていますか。いい動画なので活用してほしい。

回答

事務局（子育て支援課）

担当課と確認しながら、有効活用できるか内部で話したいと思います。

意見

ツイッターについて、毎日発信した方が絶対いいと思います。フォロワーも増えて表示されやすくなります。

進行

事務局（部会長）

ホームページについて意見はありますか。

意見

子育て応援Naviの画面だけでも、もっと子育ての感じは出せないですか。

説明

事務局（健康福祉部長）

ホームページは制約があります。もっと自由に組み合わせができると良いとは思っています。

意見

三木市の子育て施策の一番魅力的なことって何でしょうか。そこを発信していこうというのが無ければ、キャッチフレーズも出来上がらないし、魅力を自覚したいなと思います。

説明

事務局（子育て支援課）

以前は保育料の無償化が目玉になっていましたが、国の施策によって全国一律の制度になってしまいました。国や県の補助がある制度は、他市でも取り組んでいる状態です。では、何が違うかとなった場合に、三木市は負担金が安いとか、支援が手厚いという部分があります。三木市だけがしていないという事業はありません。

意見

- ・乳幼児医療の高校生の医療費に通院も含めてほしいです。
- ・経済的支援ではなく、市役所の窓口も含めて子育てにやさしいまちになることを保護者は望んでいると思います。
- ・双子がバスに乗れない、新幹線やバスで赤ちゃんが泣くと注意されるなど、子育てに否定的な考えが世間では多いです。子どもを迷惑に思わないまちになってほしいです。
- ・子ども子育て支援事業計画の基本理念「人がつながり 子どもが育つまち 三木」をもっとアピールしてはどうでしょうか。

進行

司会（田中部会長）

三木市として子育てしやすいまちだったり、安心できたり繋がれるまちだったり、そういう思いの部分がキャッチコピーなどを決めるときに反映されると良いのかなと思いました。前半はツイッターやハッシュタグといったことを考えましたので、そういったところも参考にしながら情報発信に努めていただきたいと思います。

## （２）多胎児世帯・多子世帯支援について

進行

司会（田中部会長）

議事（２）に移りたいと思います。多胎児世帯・多子世帯支援について説明をお願いします。

説明

事務局（子育て支援課）

今年、議会において、多子世帯支援の現状と支援メニューの充実についてという質問がありました。また、多胎児の保護者の方から現状と支援の充実を求める声を直接聞く機会があり、ミルクやおむつの補助があると助かる、産後のヘルパー支援や産後ケアで使える回数の上限を増やしてほしい、小学校入学時にランドセルや体操服などのおさがりを利用できれば助かる、といった意見がありました。委員の皆さんは子育て世帯に関わる機会も多いと思いますので、ご意見をお聞かせください。

質問

三木市では特別に多胎児の世帯に何かしていますか。

説明

事務局（子育て支援課）

ハンドブックの３４ページの上から３段目にある妊婦健診について、多胎児は追加助成があります。来年度、少し追記ができるようなことも検討しています。

意見

- ・視点が少し変わってしまうのですが、障がいのあるお子さんに関わることが多いです。多胎児の場合、低体重や障がいをお持ちというお子さんが結構多かったです。双子で片方のお子さんに障がいがある場合に、障がいのないお子さんの支援も必要とされています。そういった視点での多胎児支援も必要と感じます。
- ・友だちはファミサポをフル活用していました。外出の際に利用していましたが、家にいる時も利用できるしくみがあればよいと思います。

説明

事務局（子育て支援課）

誰でも使える制度ではありませんが、子育て支援課で養育支援訪問という事業をしています。たとえば日中お母さんだけで子育てをしている、なおかつ精神的に不安になり、このまま放っておけば虐待につながってしまう等、いろんなことが心配される中で、必要と判断した家庭に対して、家事援助のヘルパー派遣、もしくは保育士の派遣を選んでいただいて支援をするという制度はあります。

意見

多胎育児のサポートを考える会というところが困りごとに関するアンケート調査をしていて、外出・移動が困難である、2人が同時に泣くかとも思うと不安で公共交通機関に乗れない、自身の睡眠不足、体調不良、それぞれの泣きを対応していたら15時間経っていた、気絶している状態だけが睡眠時間、自分の時間が取れない、大変さが周囲に理解されない、バスやタクシーの乗車拒否された、などがあります。また、「多胎家庭の1日のスケジュール例」として、おむつ替え28回、授乳18回、その合間に搾乳、沐浴、寝かしつけ。そして小さく生まれることが多い多胎児は哺乳力が弱いために、ミルクを飲むのにも時間がかかる。ご飯やトイレ、お風呂の時間もままならないとあります。こうした困りごとが少しでも解消できて、三木はこういう制度があるということ言えば良いと思います。

説明

事務局（健康福祉部長）

母子手帳をもらうときに5万円、出産したら5万円、そういう制度が国で創設されようとしています。お渡しするにあたって面談して話を聞く。それ以外でも保健師や助産師がお母さんの様子を聞いたり、SNSを使ったり、いろんな形で繋がっていかようとしている。これは伴走型支援といいます。国の動きも含めてご紹介させていただきました。

進行

司会（田中部会長）

本日の意見等を参考にさせていただきながら支援が広がるといいなと思います。

## 5 その他

進行

司会（田中部会長）

その他に何かご意見はございますでしょうか。

意見

三木市の出生率が1を切ってしまう前にいろいろやり始めていただきたい。

進行

司会（田中部会長）

ありがとうございます。それでは以上をもちまして本日の議事を終了いたします。

6 閉会あいさつ

子育て支援課 中西課長